

「農薬の生態影響試験およびリスク評価に関する勉強会（第5回）」活動報告

農薬の生態影響試験およびリスク評価に関する勉強会（通称：農薬勉強会）は、日本環境毒性学会会員有志により2016年1月に発足しました（2018年6月23日現在の登録者数：44名）。今回、第5回勉強会を開催しましたので報告します。設立の背景、目的などにつきましては、活動開始報告（日本環境毒性学会誌, 19巻1号, 2016）をご参照ください。

【第5回勉強会】

2018年6月22日（金）から6月23日（土）にかけて神戸製鋼所健康保険組合保養所”淡路ゆうなぎ荘”にて開催しました。24名が参加し、以下の課題について議論しました。

- ① EUにおける内分泌かく乱物質の定義と評価法(案)について、**Guidance for the identification of endocrine disruptors in the context of Regulations (EU) No 528/2012 and (EC) No 1107/2009**, Drafted by EFSA and ECHA staff, with support from JRC, 7 December 2017.
- ② 海外における野外試験（メソコズム試験）の事例紹介
- ③ 欧米において要求される生態影響試験データと評価システム ～どの試験でどのような結果の場合どうなのか～ 第1回：表層水とミツバチ
- ④ 試験ガイドラインの比較【ELSとミジンコ繁殖試験】

【今後の予定】

第6回勉強会は、2018年9月10日に第24回日本環境毒性学会研究発表会（岐阜大学）に併せて開催する予定です。農薬勉強会の活動も3年目となりました。今後もガイダンス文書などの読み合わせ、会員からのQ&Aを中心にして進めたいと思います。勉強方法、開催場所と時期など今後も試行錯誤を続けていくこととなりますが、生態毒性学に携わる人達と農薬のリスク評価に係る考え方の最新動向を共有し、それぞれの能力向上と日本の今後に役立つよう勉強会を継続したいと思います。

雑賀修（世話人），松本建（発起人）

なお、参加を希望される方は、以下までご連絡ください。

雑賀 修 （株式会社サイカポダ）

Tel: 090-4004-9435, E-mail: saikapoda@yahoo.co.jp